

平成24年度予算決定

市民の安全・安心、防災強化予算

市政運営に取り組む所信の一端を申し上げるとともに、平成24年度当初予算について報告します。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成24年3月市議会定例会・市長施政方針より



伊豆の国市長

望月良和

4月から平成28年度を目標年次とした、市政運営の基本となる『第1次伊豆の国市総合計画後期基本計画』がスタートします。後期基本計画では、前期基本計画を継承するとともに、5年間の計画期間内に、これまで取り組んできた3つの戦略と6つの基本方針、それらをさらに推進する5つの後期発展プロジェクトを掲げ、重点的に取り組みます。後期基本計画の各種施策を計画的に推進し、総合計画に掲げる将来像の実現に向け、全力を尽くしていきます。

新年度予算は、東海地震への備えを一層強化していく『市民の安全・安心、防災強化予算』と位置づけ、これまでの教育施設の耐震化、浸水対策、子育て支援などの重点施策を着実に押し進める一方、経済対策や世界遺産登録の推進など、本市の発展に不可欠な施策を積極的に予算化し、後期基本計画の具現化を図っていきます。

5つの後期発展プロジェクト

1 『市民一人ひとりの暮らしの強化』 市民の快適な暮らしの確保を図る施策を優先的に取り組みます。『住宅新築及びリフォーム助成』を創設し、地域経済の活性化と定住人口の増加を図ります。こども医療費助成は、4月から通院についても対象を中学生まで拡大し、子育て家庭を支援していきます。安全安心な教育環境づくりでは、最優先で取り組んできた教育施設の耐震化の仕上げとして、堀越保育園の移転に伴う新設保育園の建設工事を行います。また、市立のすべての小・中学校と幼稚園・保育園に、毛布や発電機、簡易トイレなどの備蓄用品を配備し、発災時の応急対策を図ります。



2 『防災力の強化』 自助・共助・公助のそれぞれの強化を図ることで、市全体の防災力の強化を図ります。地域防災力の向上では、耐震

性が低いと見込まれる21区の公民館の耐震診断を全額公費補助で実施し、公民館の耐震化を推進します。資機材整備事業費などを増額し、自主防災組織の強化を図ります。情報伝達網の整備では、同報無線の戸別受信機や衛星携帯電話機の導入を図り、迅速かつ正確に伝える情報伝達体制の確立を目指します。救護医療の充実では、災害救急医療用 TENT を購入し、災害時の救急医療やトリアージに活用します。木造住宅耐震補強助成では、従来の助成に加え、助成額を30万円で増やします。浸水対策では、準用河川舟口川や洞川の改修事業、千歳樋管上流部の排水路整備を推進します。



3 『健康力の強化』 市民の健康寿命の延伸と、一人ひとりが生き生きと暮らせる力を育みます。ウエルネス・マネジメントの推進では、伊豆の国市健康プランの見直しを行い、市民のライフステージに対応した健康づくりを図

ります。高齢者の介護予防・健康増進では、各地区での体操教室、地区サロンを推進します。伊豆保健医療センターのMRI機器整備を支援し、地域医療の充実を図ります。



4 『循環力の強化』 安全、健康の徹底を図るため、資源循環の仕組みをさらに推進します。資源循環センター農土香では、モデル的に一般家庭からの生ごみの分別回収を開始し、さらなる生ごみの減量化・資源化に取り組めます。エコ認証を取得する際の土壌診断に対する助成を行い、安全・安心な農作物の生産拡大を図ります。



5 『歴史資源活用力の強化』 先人が残した歴史・文化を生かし、郷土愛を醸成します。葦山反射炉の世界遺産登録推進では、世界遺産登録を着実に進めるため、世

界遺産推進課を新設し、市民の協力の下、市としての包括的な保存管理計画を策定します。歴史文化資産の活用では、江川坦庵公をテーマにした『歴史探訪坦庵フェア』を、坦庵が建造した品川台場の地で開催し、世界遺産を目指す葦山反射炉を全国に発信していきます。



6つのまちづくり基本方針

1 『美しい自然に恵まれた、快適な空間のまち』

地球温暖化対策では、住宅用新エネルギー機器の設置者に対しての補助や、事業所のエコアクション21認証取得への助成を行います。広域廃棄物処理施設整備では、引き続き生活環境影響調査を実施し、調査結果を踏まえ、地域の皆様に説明させていただき、施設の建設場所が早期に決定出来るよう調整していきます。景

2 『生き生き働く、活気に満ちた産業のあるまち』

観光振興では、『頼朝挙兵830年祭』などのイベントを支援し、観光協会との連携を図りながら、誘客活動を強化していきます。観光施設整備では、葦山山木観光トイレの建設や、ジオパークサインの設置を行います。商工振興では、中小企業者向け融資制度利用者への利子補給や、プレミアム商品券発行の支援を行い、中小企業の経営基盤強化と市内経済の活性化を図り

ます。企業誘致では、企業立地に係る助成制度やふじのくに先端医療総合特区のメリットを情報発信していきます。農業振興では、新規就農者の育成に努めるほか、毘沙門排水機場のポンプ増設や洞川排水機場の整備を行います。

3 『未来を担う人を育み、豊かな歴史・文化を築くまち』

教育・歴史・文化の分野

学校教育では、魅力ある学びの場づくりと地域から信頼される学校づくりの推進に努めます。葦山南小学校に通級指導教室を開設し、言語・情緒に問題を抱える子どもたちへの、きめ細かな支援を図ります。小・中学校の普通教室への扇風機の設置や、長岡北小学校の小プールの増設工事など、教育環境の整備を推進します。生涯学習では、生涯学習講座や公民館講座など73講座の開設を予定し、多様化する市民ニーズに応えます。歴史資源の保存整備では、煉瓦などの劣化が進む葦山反射炉の修理調査や、葦山城跡の整備活用計画の策定を進めます。

4 『だれもがすこやか、元気に生きるまち』

健康・福祉の分野

成人健康診査では、集団検診場所を増やし、検診率の向上を図ります。こども予防接種では、ヒブワクチン・小児肺炎球菌ワクチン・子宮頸がんワクチンの接種費用を全額公費負担で実施します。地域包括支援センターでは、相談体制を強化し、迅速できめ細やかなサービスの提供を図ります。子育て支援センターでは、子育ての悩み事や育児に関する相談が気軽にできる環境整備を図ります。児童虐待やDV対策では、児童相談や女性相談のできる相談員を配置し、関係機関との連携を強化していきます。

5 『住みたい、訪れたい、にぎわいのあるまち』

都市基盤・生活環境の分野

道路整備では、23路線の拡幅・舗装改良工事、重要路線の葦山跨線橋の耐震補強設計などを実施します。上水道事業では、四日町水源築造工事、長瀬配水池配水管布設工事など、施設の整備・更新を進め

6 『みんなが主役、明日に向かって進むまち』

行政運営・市民参加の分野

広報・広聴では、ホームページのリニューアルを行い、時代のニーズに即したホームページの構築を図ります。市政懇談会や市長へのまちづくりご意見箱など、市民の皆様が市政に参画しやすい環境づくりに努め、寄せられた提言や意見をまちづくりにいかしていきます。効率的な行政運営では、第2次行財政改革大綱と集中改革プランの着実な推進を図り、健全な行財政運営に取り組んでいきます。

■特別会計ほか予算額■

特別会計、上水道事業会計を合わせた総額は303 億 2,210 万円で、前年度より約 8 億円 (2.7%) の増額となりました。

■特別会計■ 116 億 1,410 万円

国民健康保険	60 億 8,300 万円
後期高齢者医療	4 億 7,330 万円
介護保険	34 億 3,900 万円
楠木及び天野揚水場管理	1,430 万円
簡易水道等事業	5,250 万円
下水道事業	15 億 5,200 万円

■上水道事業会計■ 12 億 4,800 万円

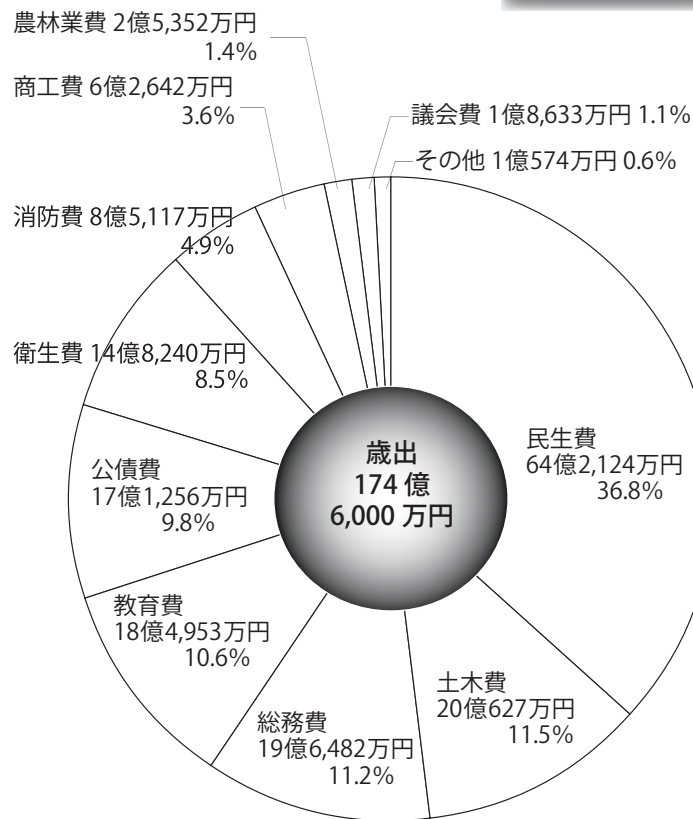
収益的	収入	6 億 3,565 万円
	支出	5 億 9,800 万円
資本的	収入	450 万円
	支出	6 億 5,000 万円

■基金の状況■

基金名	平成 24 年度末 残高見込額
財政調整基金	28 億 4,209 万円
減債基金	10 億 8,614 万円
土地取得基金	1 億 2,989 万円
福祉対策基金	7,828 万円
自殺予防対策基金	1 万円
教育振興基金	4,100 万円
ふるさと水と土基金	2,589 万円
温泉保護対策基金	9,147 万円
収入印紙等購入基金	600 万円
国民健康保険 保険給付等支払準備基金	101 万円
国民健康保険 高額医療費資金貸付基金	900 万円
介護給付費準備基金	1 億 3,866 万円
介護従事者処遇改善 臨時特例基金	101 万円
楠木及び天野揚水場 管理基金	3,500 万円
合 計	44 億 8,545 万円

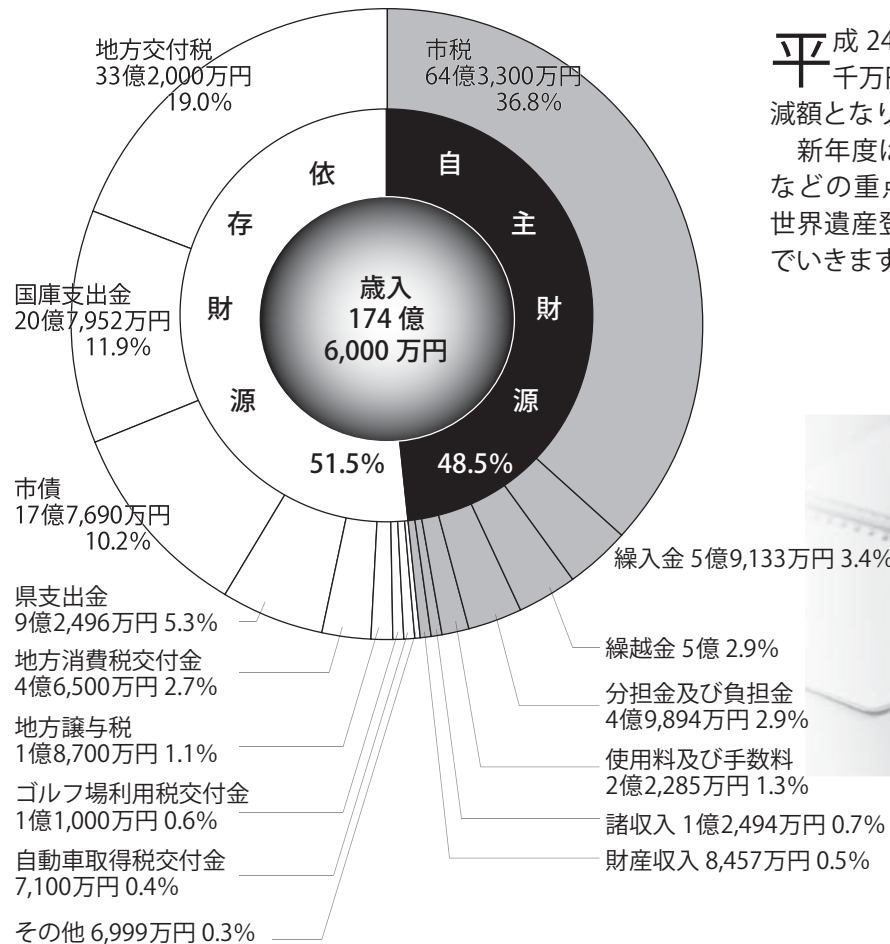
歳 出

1 年間に使うお金



歳 入

1 年間に入るお金



■一般会計■

*一般会計とは、地方公共団体の中心となる会計で、行政運営の基本的な経費を網羅しています。

174 億 6 千万円

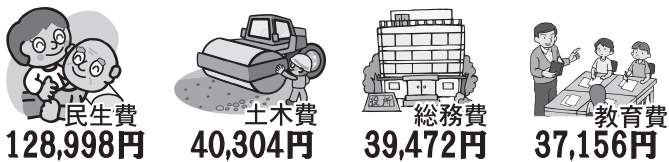
平成 24 年度の一般会計予算額は 174 億 6 千万円で、前年度より 7 千万円 (0.4%) の減額となりました。

新年度は、これまでの治水対策、子育て支援などの重点課題に加え、防災対策や経済対策、世界遺産登録の推進などにも積極的に取り組んでいきます。

問合せ 財務課
☎ 055-948-1414



市民一人あたりの予算 35 万 7 千 577 円の使い道



※平成 24 年 3 月 1 日現在の住民基本台帳人口 (49,778 人) で算出

■市債の状況■

会計名	平成 24 年度末 残高見込額
一般会計	189 億 1,121 万円
簡易水道等事業特別会計	1 億 5,563 万円
下水道事業特別会計	49 億 9,711 万円
上水道事業会計	7 億 7,517 万円
合 計	248 億 3,912 万円

6 つの基本方針

